

2020年6月24日
京都大学

柳井正氏からの寄附による京大基金：柳井基金「PD-1 阻害がん免疫療法に対する研究助成」の設置について

柳井正氏と国立大学法人京都大学（学長：山極壽一）本庶 佑 国立大学法人京都大学高等研究院特別教授・（兼）医学研究科附属がん免疫総合研究センター長の3者は、2020年4月に設置の医学研究科附属がん免疫総合研究センターにおいて、ノーベル生理学・医学賞を受賞した本庶特別教授が進めるPD-1阻害がん免疫療法を推進するとともに、次世代を担うがん免疫療法の研究者を育成することを目的として、柳井氏の寄附により京大基金：「柳井基金」を設置することに、2020年4月22日に合意しました。

1．設置の目的

がん免疫療法に関する諸課題を世界に先駆けて解決するため、基礎・臨床を統合し、分野横断的に国内外の研究者が結集する「がん免疫総合研究センター」を設立し、新時代のがん免疫治療の開発拠点とする。本基金は、本庶 佑 特別教授がセンターで行う研究活動を推進することを目的として設置する。

2．基金名称

（設置先）京大基金：柳井基金「PD-1阻害がん免疫療法に対する研究助成」

3．寄附者

柳井 正（やない ただし）
（株式会社ファーストリテイリング代表取締役会長兼社長）

4．開設期間

2020年4月22日～2030年4月21日

5．寄附予定額

5億円 × 10年間 = 総額 50億円

6. 期待される成果

本基金の設置により、1) 未知のがん免疫機構に関する基礎知見の集積と新規がん免疫治療シーズの発見、2) がん免疫治療を最適化する薬剤選択や他の薬剤選択との併用法の開発、3) がん免疫治療で恩恵を受ける患者を識別する方法の開発などといった、がん免疫分野における研究および人材育成拠点として、日本ひいては世界をリードできる組織へと発展していくことが期待される。

2020年6月24日
京都大学 iPS 細胞研究所
公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団

柳井正氏からのご寄附による研究活動について

本年4月に、柳井 正 氏（株式会社ファーストリテイリング代表取締役会長兼社長）から山中伸弥 京都大学 iPS 細胞研究所長 / 公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団理事長が進める研究活動に対してご寄付のお申し出を頂戴しました。柳井氏による寄付金を以下のプロジェクトに活用させていただきます。

1. 新型コロナウイルス研究プロジェクト

新型コロナウイルス感染症は新しい感染症であり、適切な診断法や予防・治療法の早期確立が期待されています。そこで、本プロジェクトでは、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、検査システムの構築や感染の動向を把握するための調査を実施します。また、治療薬およびワクチンの開発に貢献するために、iPS 細胞技術を用いた研究を推進します。

研究主体：京都大学 iPS 細胞研究所

共同研究・連携機関：京都大学医学部附属病院、京都市、
大阪市立大学大学院医学研究科、大阪府

主な研究内容：
・ 遺伝子および抗体検査体制の拡充と医療従事者、各種患者コホートを対象とする疫学調査
・ 新型コロナウイルス既感染者由来 iPS 細胞の樹立と分化細胞を用いた病態解明を目的とする研究
・ 新型コロナウイルス感染モデルを構築し、治療薬の探索およびワクチンの開発に向けた研究

柳井氏による寄付額：5億円

研究期間：2020年5月1日～2023年3月31日

期待される成果：

本プロジェクトにより、1) 新型コロナウイルスの自動化・高速化された検査体制

の構築、2) 医療従事者の感染状況の把握により効果的な感染対策の実施が可能になる、3) 治療薬やワクチンの開発に貢献することが期待されます。

2. my iPS 細胞プロジェクト

公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団は、2020 年 4 月に活動を開始しました。iPS 細胞研究所から再生医療用 iPS 細胞ストックプロジェクトを引き継ぎ運営しています。この一環として、自己由来の iPS 細胞の製造・保管・提供を目指す「my iPS 細胞プロジェクト」を推進しており、これを実現するために、臨床用 iPS 細胞の製造施設の設置を計画しています。

実施主体：公益財団法人京都大学 iPS 細胞研究財団

プロジェクト概要：

免疫拒絶なく移植可能な自己由来の iPS 細胞を作製し、100 万円程度で提供する。年間 1,000 人分の iPS 細胞を製造可能な施設を設置し、2025 年 3 月頃に実用化することを目指す。

製造施設計画概要：・工期予定 - 2021 年に開始、2025 年 1 月に完了
・延べ床面積 - 1,500 平方メートル
・設置費 - 20 億円
・主な施設 - 細胞調製施設、検査室、細胞保管室等

柳井様による寄付予定額：5 億円 × 9 年間（2021 年度より）= 総額 45 億円

期待される成果：

本プロジェクトにより、1) 患者さん自身の細胞から iPS 細胞を安価に短期間で作製する方法を開発し、2) 免疫反応によるリスクの少ない再生医療を多くの人に届け、3) iPS 細胞技術を産業界に橋渡しすることによる iPS 細胞を用いた医療の実現に貢献することが期待されます。